岩国市いじめ問題対策サイクルプラン

岩国・和木いじめ防止スローガン

みんなが主役～さりげなく手をさしのべて～

市では、いじめの未然防止に向け、子どもたちが自ら考え、行動する「岩国市いじめ問題対策サイクルプラン」を策定し、３年間を１つのサイクルとし、１年目は各小中学校、２年目は各中学校区でいじめ防止について話し合い、３年目には岩国市・和木町の各中学校区の代表が集まる「岩国・和木いじめ問題子どもサミット」を開催しています。今回で４回目を迎えたサミットの様子を紹介します。　問青少年課☎(43)0901



各学校の代表者がいじめ防止に向けたこれまでの取り組みを発表しました

令和７年度に岩国市・和木町で報告されたいじめのうち、冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるなど、「ことば」に関するものが半数以上を占めました。

今回のサミットでは、「ことば」をテーマに相手を思いやり、笑顔につながる言葉について考えました。



各中学校区の代表者は、「ありがとう」、「大丈夫？」、「一緒にやろう」といった温かい言葉を伝える活動や言葉の使い方を考える話し合いなど、それぞれの取り組みを発表しました。発表の中には、保護者や地域の人も一緒になって、相手を傷つけない言葉の伝え方を考える取り組みもありました。

生徒たちは、相手の良いところに目を向けるようになった、学校の雰囲気が良くなったなどの成果や、相手の気持ちを考えた言葉遣いを意識し、感謝や励ましを伝える日々の積み重ねが、いじめのない学校づくりにつながっていくと話していました。



言葉によるいじめ防止の合言葉をグループで協議し、みんなで採択しました





生徒たちで考えた『いじめ未然防止』に向けた合言葉

アイ　アイ　ワード
I ♡ Word（I…いわくに ♡…愛ある Word…ことば）

「みんなに伝えよう笑顔あふれる愛言葉」






サミットに参加した生徒、担当の先生へインタビューしました



岩国中学校３年　藤本さん

各中学校の取り組みを知ることができて、すごく貴重な経験になりました。後半の合言葉を決める場面では司会を担当しました。一人ひとりが言葉にしっかり思いを込めていたので、みんなの意見をまとめるのは難しかったですが、最後には納得できる合言葉ができてよかったです。

話し合いを通して、「ありがとう」などの温かい言葉をかけてもらうとうれしい気持ちになるんだなと、改めて感じました。私もこれから、笑顔や思いやりにつながる温かい言葉をもっと使っていきたいです。

言葉には、人を傷つけることもあれば、励まし、勇気づけ、笑顔にする力もあります。生徒たちには、今回のサミットで学んだことや生まれた合言葉を、それぞれの学校で仲間に話し、行動につなげていくことが大切だと伝えました。

市では、子どもたちがいじめの問題を自分事として捉え、考えたことや感じたことを行動につなげられるよう取り組んでいます。サミットでの学びをこの場で終わらせることなく、学校から地域へと広げ、誰もが安心して笑顔で過ごせるまちづくりにつなげていきます。



岩国市教育委員会　青少年課
末本指導班長